

令和2年度
転入女性が暮らしやすい
福島づくりプロジェクト
活動報告書



一般社団法人 tenten
(ベルフォンテ)



転入女性が暮らしやすい福島を目指して

転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクトを始めて、今年度が節目の3年目。これまでの活動の中で、多くの転入女性にイベントに参加していただきました。その都度、参加者の笑顔を見たり、参加してよかったという話を聞く中で、このプロジェクトのニーズを実感してきました。転入女性をサポートするプロジェクトをとにかくやってみたいという強い思いで動いてきたのですが、ニーズに確信が持てるようになった今、次の目標は、プロジェクトを継続すること。これまで活動を支えてもらった補助金や助成金は3年が限度のものが多く、4年目以降継続するためには、自走に向けて、活動をもっといろんな方に知ってもらい、認めてもらい、サポーターを増やしていくことが必要になります。

のために、今年度の年度初めに、3つの目標を立てました。

一つ目は、「地域にとってもwin-winと感じるプロジェクトにすること」。

転入女性のニーズに応えるプロジェクトであると同時に、地域にとってもメリットを生み出す活動にしたい。転入女性が地域とつながり、地域に溶け込むことで、地域の活性化につながり地域に好循環を生み出します。

二つ目は、「転入女性コミュニティの規模を大きくし、コミュニティの力をつけること」。

コミュニティを大きくすることで、コミュニティ内部の動きが活発化することに加え、県内外から転入してきた女性から意見を集めることや、移住転入者向けの情報をピントに届けることが容易になります。

三つ目は、「組織基盤を強化するために法人化をすること」。

法人化することで責任も増えますが、活動を継続するためには対外的に信頼度を高め、組織として取り組んでいくことが必要です。

この3つを念頭に置き、コロナ禍でも工夫しながらできることを継続して行った結果、コミュニティ所属の人数は1.5倍の400人超になりました。

令和2年10月8日に一般社団法人化も行いました。

具体的な取り組みはこの報告書にまとめたので、ぜひご一読いただけたら幸いです。

ページを開くたびに見える転入女性たちの笑顔。

この笑顔あふれる暮らしやすい福島を今後も作っていきたいです。

令和3年4月

一般社団法人 tenten

代表理事 藤本菜月

目 次

あいさつ、目次	
プロジェクトについて	1
まちとつながる旅in福島市	2~4
まちとつながる旅in福島市（参加者の声、地域の方の声）	5
tenten cafe（福島市、郡山市、会津若松市、会津美里町）・tenten社会科見学	6~7
クラウドソーシングセミナー・受託業務	8
その他の活動	9

転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクトとは…

福島県に転入する女性は毎年約25,000人。福島県の調査によると、転入の理由は、転勤や結婚が45%を占めています。そのような転入女性の中には「外部との関わりを持ちにくく孤独を抱えている」「仲間がないために口コミ的な情報を聞ける相手がおらず地域の生活情報を入手にくい」「キャリアをリセットして転入したこと、特に転勤族の場合やお子さんが未就学児の場合、定職に就くことが難しく社会とのつながりを持ちにくい」というネガティブな状況に置かれている方が多く見られます。そのような転入女性を対象として、

①仲間や地域とつながるキッカケづくり

②よそ者視点、豊富な職歴やスキルといった転入女性の特徴を生かした仕事づくり

③暮らしの情報発信

を行うプロジェクトです。不安や孤独で孤立しがちな転入女性が、仲間、情報、地域、社会と繋がり、暮らしやすい生きと楽しく福島で生活できる環境を作ることを目指しています。それはひいては定住する女性が増えること、またいずれ福島から転出した後でも、福島のファンであり続け、福島との繋がりを持つ関係人口が増えることに繋がっていくと考えています。

事業概要



令和2年度 プロジェクトの沿革

令和2年5月29日	tenten cafe@オンライン	令和2年11月25日	まちとつながる旅2日目 (県庁通り商店街街歩きツアー)
令和2年7月20日	tenten cafe@福島市①	令和2年12月2日	まちとつながる旅3日目 (ふりかえり&ワークショップ)
令和2年9月9日	tenten cafe@福島市② (ママ会)	令和2年12月10日	tenten cafe@郡山市②
令和2年10月15日	tenten cafe@会津若松市①	令和2年12月17日	コトハナサロン@浪江町 (ゲスト参加)
令和2年10月24日	tenten cafe@福島市③ (大人会)		※いわき・双葉の子育て応援コミュニティcotohana主催ゲスト参加
令和2年11月4日	tenten cafe@会津若松市②	令和3年1月14日	tenten cafe@福島市⑤ (ママ会)
令和2年11月5日	tenten cafe@会津美里町	令和3年2月26日	クラウドソーシングセミナー①
令和2年11月12日	tenten cafe@郡山市①	令和3年2月27日	クラウドソーシングセミナー②
令和2年11月18日	まちとつながる旅1日目 (オンライン顔合わせ)	令和3年3月9日	tenten cafe@福島市⑥ (社会科見学)
令和2年11月19日	tenten cafe@福島市④		



2020移住転入女性のための「まちとつながる旅in福島市」 ～福島で福島をもっと楽しもう！～

まちづくりにも力を入れ、個性的な商店が集まる県庁通り商店街界隈を移住・転入女性同士交流を深めながら巡りました。新しい取り組みをしているお店や歴史ある教会で話を聞き、街中の楽しみ方を知ってもらうまち歩きツアーは事前説明会、当日イベント、フォローアップワークショップと3週連続同じメンバーでの活動で仲間づくりのきっかけになりました。

まちとつながる旅 (11月25日)



①OPTICAL YABUCHI (オプティカルヤブウチ)



まずは眼鏡屋の「OPTICAL YABUCHI(オプティカルヤブウチ)」へ。店主の藪内義久さんからお店についてだけでなく、県庁通り商店街の歴史やまちづくりについてもお話しいただきました。今ではこんなに個性的でおしゃれなお店が入っている「ニューヤブウチビル」ですが、以前は雀荘などの入った雑居ビルだったと聞き驚きました。お話を伺ったあとは、こだわりの眼鏡や雑貨を見させていただきました。素敵な眼鏡や雑貨を見ながら会話も弾んでいました。

⑦ペントノート

最後に訪れたのはおしゃれな文房具屋とカフェが併設されている「ペントノート」。経営している「文化堂」の尾形澄江さんから「ペントノート」で取り扱っている文具の話や、1階にある総菜屋「TARACO(タラコ)」とカフェバー「EACHDAY(イーチデイ)」についてもご紹介いただきました。

⑥うろこや

甘納豆専門店の「うろこや」では店主の川口慎一さんよりお話を伺いました。ずっと釜焚き甘納豆を作てこの界隈を見守ってきた川口さん。甘納豆の作り方などお教えていただいたり、まだいろいろなお話を聞きたいと思いました。



川口さんのお厚意でいただいた甘納豆のお土産。嬉しいで参加者一同興味津々です！

⑤Books&Cafeコトウ



このお店を始めたキッカケや本のこと、最近たくさん扱っているこけしのお話を伺いました。店内見学ではお店で使われているコーヒーカップについて、小島さんと話が盛り上がる参加者もいました。趣味が刺激されたそうです！2階のカフェスペースにも案内してもらいました。

②Total Plants bloom (ブルーム)



2店舗目は同じニューヤブウチビル2階の花屋さん「Total Plants bloom(ブルーム)」へ訪問。花屋さんが2階にあるのは珍しく、参加者からは、お店に入るなりおしゃれ！素敵！！と歓声が上がっていました。店主の芳賀敏泰さんからお店についてなどお話を聞いて、店内を見学。



③PICK-UP&Barns

ニューヤブウチビルから移動し、30年以上続く洋服屋「PICK-UP&Barns」へ。店主の高橋省吾さんからお話を伺いました。



お店にあるもの
どれもおしゃれで、
つい真剣に物色中。



⑤ Books&Cafe コトウ

⑥ うろこや

高橋さんは震災後、自分たちの街を自分たちでもっときれいにしたい！街にもっと緑を増やしたい！と曜日の朝に「フクハナ」という活動も継続的にされています。お花を植えたり手入れするだけではなく、ワークショップも年に数回企画されているそうです。



④福島聖ステパノ教会

続いての訪問先は「福島聖ステパノ教会」です。司祭の渡部拓さんより教会の歴史や建物についてお話をいただきました。この建物は約115年前に建てられ、現在も当時とほぼ変わらない状態だそう。歴史ある建物と教会の神聖な雰囲気にちょっとタイムスリップをしてしまったような気分になりました。



顔合わせ&事前説明会 (11月18日)

初回はZOOMを使用して、まずはオンラインで顔合わせを行いました。自己紹介をしながら「みんなに教えたい地元の美味しいもの」も話して会話を弾ませました。



食堂ヒトスタッフのお2人も県外から移住してきた同じ転入女性と知り、一緒に親近感が湧きました。



食堂ヒトの隣にある「OOMACHI GARALLEY」へ。展示期間中ではなかったのですが、見学させていただきました。





仲間とつながる交流会で感想をシェア(12月2日)

まち歩きから1週間経った12月2日、最後に訪れた「ペントノート」に再び集まっていただきました。まずはフリーカメラマンの古関真奈美さんに撮影していただいたまち歩きの写真を見ながら感想を話し合いました。

その後は大玉村の稻を使ったミニしめ縄リース作りのワークショップで参加者同士の交流を更に深めました。



「お土産でもらった甘納豆に感動! 美味しくて子どもに内緒で大人だけで食べた。」

「この1週間の間にうろこやにも2度も行った!」

「一人でゆっくり歩いてみたくて、回ったお店をもう一度訪れて買い物したりランチしたりお茶したりした。」

「娘を連れてきたらかわいい文具に喜んでいた。」

「女性同士でおしゃべりしながらまちを歩いて、お店でこれかわいい!と言い合う時間が久しぶりで楽しかった。」

「長く住んでいて自分の行動パターンが決まってしまっていました。まち歩きで新しい発見があった!」

「このあたりのことは知っていると思っていたのに知らないお店もあって視野が広がった」などなどたくさんのご感想をいただきました。

そもそもここに商店街があることも知らなかった!という方もいたので、皆さんに県庁通り商店街を紹介することができてよかったですと感じました。

workshop



ワークショップ講師フラワーアーティストanemosの長澤友美子さんによる「福島の稻を使ったミニしめ縄リース作り」を行いました。今回は大玉村の稻を使用。福島のお米っておいしいよね!どこが好き?という話もしながら手を動かす皆さん。

同じ材料を配っていても付ける位置や、しめ縄の角度で全く違うものになるため、時折真剣な表情になり作業していました。おしゃべりしながらもの作りをするって楽しいですよね!時間があつという間に経ってしまいました。参加者皆さんの個性が光る、世界につつだけのしめ縄リースが出来上がりました。



それぞれが作ったしめ縄リースを持って集合写真



オンラインを含めて3回同じ顔触れで開催したため、いつの間にか皆さん仲良くなっていて、解散した後にランチに行ったりされていたのが主催者として嬉しい限りです。今回参加して街の見方が変わった!応援したくなったり、自分にも何かできないかなと思った!

というお話をしました。これからもきっと参加者のみなさんとこのまちはつながり続けていきますね。

参加してくださった転入女性の皆さん、ありがとうございました!そして私たち転入女性を温かく迎え入れてくださった

県庁通り商店街や各所の皆様、またこの「まちとつながる旅in福島市」を開催するにあたりご協力いただいた皆様、

無事開催できたことに心から感謝いたします。ありがとうございました。



参加者の声



引越してきて4ヶ月で参加しました。商店街がある事も知らなかったので街歩きはとても新鮮でした。お店に入って見るだけでなく、それでお店の事、こだわりや取り組みなども聞けて良かったです。他の参加者の方とも話しながら巡って楽しく充実した日を過ごせました。街歩きを通して行動範囲が広がり、何度もお店に行く事によって親しみある通りになりました。しめ縄作りも福島の稻を使っていて貴重な体験ができ、嬉しかったです。企画してくださったtentenのスタッフ皆さんに感謝しています。



気になるけど一人で入るのは少し勇気がいる、そんなお店にみんなで行くなんて素敵な企画なんだろうという思いから参加してみました。実際に皆さんとまち歩きをして、新しいお店を知る事ができたり、商店街の方々の思いを聞く事ができ、とても充実した楽しい時間を過ごすことができました。

参加後は、今まで素通りしてきたお店も身边に思えたり、以前とまちの見え方も変わってきたように思います。今はまだ一人で行けなくても、いつでも行ける場所があるという安心感も生まれました。

tentenとの出会いは、これまでの転入先では味わえなかった“暮らしを楽しむ”ということを気づかしてくれました。



コロナ禍真っ只中の転勤後、ほとんどの時間を家で過ごしていました。福島に引っ越ししてきたという実感がないまま半年が過ぎてしまいましたが、「まちとつながる旅in福島市」に参加して、魅力的なお店を巡りながら同じような境遇の方たちと話すことができ、やっと福島の街に愛着を感じられるようになりました。同年代の女性たちがtentenの活動を通して活躍していることも知り、自分もいつか社会の役に立ちたいという思いを新たにしました。良い刺激を与えて下さったtentenの皆さんに感謝しています。



私にとって買い物をするわけではなく、はじめてのお店に入るのはかなり勇気がいることです。今回街歩きいろいろ紹介していただいたことで、知らない場所がステップアップして馴染みの場所になりました。歩きながら町やお店の情報を教えてもらえる機会はツアーに参加しないとできない体験でした。次からは常連気分で誰か遊びに来た時に連れて行きたいと思います。また、お店の人方がみな暖かく迎えて下さったのは大変嬉しく、改めて福島市民の一員になれたような気がしました。素敵なツアーを企画して下さってありがとうございます!



今回街歩きに参加させて頂きました。この通りは、私もおしゃれな所がたくさんあるなあと感じ何度か訪れたことはありましたが、物を購入したり、食事をしたりすることはあっても、お店の方と話したり、お店ができるまでのエピソードを聞くなんてことはなかったので、とても新鮮でした。話を聞き、お店の方や、自分の店だけでなく街全体についても考えていることや、お店同士の横のつながりを感じました。そして、私はとても素敵な街に暮らしているんだと嬉しく思いました。今回の旅で、エネルギー溢れる素敵な方々と出会え、福島の違う顔を見る事ができました。またこののような企画で、福島の再発見したいです。



福島で子育てをするママたちの助けになれば良いなとtentenに入り、おそらくスタッフ以外で一番出席率の高いメンバーではないかと思われます。まちとつながる旅では視点の変わる経験を得ることができました。今までイチ住民として、過ごしやすい街、子育て環境に恵まれている街と、その恩恵を得るだけの傍観者のような立場だったのですが、この街をもっと良くしていきたいと行動する街づくりの当事者の視点を得ることができ、自分もそちら側の人間になりたいと思うきっかけになりました。自分の住む街を盛り上げたいという想いは生まれ育った地元に対しても抱いたことがありますでした。きっかけを作ってくれた今回の旅に感謝です。

地域の方の声

OPTICAL YABUCHI 蔡内義久さん

先日は沢山の方々にご来店とお話を聞いて頂きありがとうございました。感じたことはやはりこちら側も、転入されてくる方々に有益で楽しい情報を伝え出来る準備と、繋がれる人を知っておくことが重要だと感じました。



また、他の人を紹介してそこから紹介してもらえるようなハブのような存在のお店が沢山あることが町の魅力になり、転入してこられる方へもとても重要なものだと感じました。そして自分たちも転入されてこられる方から学ぶこともたくさんあると思いますので、是非これからもより良い街の為に沢山ご意見いただければと思います。自分たちも楽しい街にするために、来てよかったと思っていただけるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

Books&Cafeコトウ 小島雄次さん

福島市にいくつもある「地域に根付いた店」は、買い物をするだけの場所ではなく、人が集まり、情報も集まります。そうした店と繋がることは、その町を知る第一歩になりますし、お気に入りの店を見つけることは日々の生活を豊かにしてくれるはずです。良い店は、きっと、「刺激」と「癒し」どちらも兼ね備えています。



ただ、個人店舗の扉を開けることは、思いのほか勇気がいるらしいのです。初めての店なら尚更のこと。「まちとつながる旅」は、重い扉を開けることを、そっと後押しする企画だったと思います。参加者の皆さんは、店への興味と敬意を持っていたいと感じました。気持ち良い時間でした。どうか、皆さんお気に入りの店を見つけ、日々の生活に彩りが加わりますように。

tenten cafe

仲間作りと情報交換を目的とした座談会。今年度は会津地域で初めて開催しました。
病院、幼稚園・保育園・学童、グルメの情報などの情報交換が活発に行われました。

福島市

7月20日
tenten cafe@
積水ハウス福島南展示場



コロナによる自粛期間を経て7ヶ月ぶりの開催に7人の転入女性が集まりました。今回は開催場所を積水ハウス様からご提供いただき、素敵な展示場のリビングで自己紹介からスタート。小学校のPTAのことや地域の駄菓子屋さん、お仕事についてなど会話はどんどん弾みあつという間に時間が過ぎていきました。

福島市

9月9日
tenten mama cafe@
信陵子育て支援センターばれぼれ



初めての「ママ会」を開催。子育て中の転入女性6人、赤ちゃんから元気な子ども達7人が集まりました。「子育て」のことと「仕事」のことを中心に情報共有しました。なかなか思うように就職活動ができないとの悩みに参加者が応える場面もみられました。

福島市

10月24日
tenten cafe大人会@
積水ハウスシャーウッド福島展示場



今年度初の「大人会」。大人だけで集まり、子どもの話以外の話をしましょう!という会です。1年ぶりの開催に、定員を超えた9人の転入女性が集まりました。郡山市や白河市からの参加も。土曜開催ということで、お仕事をされている方の参加も多かったです。

福島市

11月19日
tenten cafe@
如春荘



この日集まってくれたのは6名。大玉村から来てくれた方も。初めての参加の方が4名いましたが、自分が紹介をしてすぐには打ち解けました。福島に転入した経緯も皆さんそれぞれで、息子さんが福島市で就職したのを機に、ご自身も福島市に移住されたという女性もあり、参加者同士の共通点が多くて、あっという間に会話がとまらなくなりました。

福島市

1月14日
tenten mama cafe@
信陵子育て支援センターばれぼれ



コロナ禍で開催するかどうか迷いましたが、今の状況だからこそ誰かと直接会って話がしたい!と転入ママ4人が集まってくれました。近くに頼れる親戚さえいない転入女性にとって自粛生活は大きな負担です。リアルで話すことでこんなにもリフレッシュできるんだなと今回改めて実感しました。

福島市

3月9日
tenten社会科見学@
福島県危機管理センター



昨年度、参加者にtentenで何をしたいかとヒアリングして「社会科見学」がしたいという声が上がったことから実現した会。「危機管理センター」の訪問を計画しました。3月11日の直前であったことや、2月13日に大きな地震があったことから、必然的に防災についての意識が高くなつたところでの開催となりました。満員御礼の10人の転入女性たちが集まりました。

郡山市

11月12日
tenten cafe@積水ハウス郡山中央展示場

この日の参加者は9名。郡山市主催の転入女性のはやまーゼ教室からの参加者、昨年tenten cafeに参加してくださったリピート参加の方、転入女性コミュニティに入っていたもののリアルなtenten cafeには初参加の方、市役所でチラシを見て参加してくれた方など年齢も幅広く、いろんな方が集まってくれました。積水ハウススタッフさんも3名一緒に参加してくれました。転入や転勤などがある中でどうやって仕事を探し始めたのかなど、実体験から参考になるお話をたくさんありました。



郡山市

12月10日
tenten cafe@積水ハウスシャーウッド郡山展示場

郡山市をはじめ田村市や須賀川市から小さなお子様連れの方も含め9名の女性達が参加してくれました。積水ハウスのスタッフ3名の方にもスタッフとしてではなく、一人の女性としてご参加いただきました。子育ての情報交換をしたい方、郡山の暮らしについて知りたい方に別れて情報交換を行いました。仲間作り、一人でも気軽に連絡を取れる方ができると一気に暮らしは楽しくなります。そのキッカケとなるtenten cafeを開催する重要性を改めて実感しました。



会津若松市

10月15日
tenten cafe@lotus wood Village

初めて会津若松市にて開催し11名の転入女性が集まってくれました。この春に転入してきた方は、右も左もわからず、知り合いも一人もいない中、イベントもすべて中止になり、人と出会うきっかけを心待ちにしていたと話してくれました。その後、会津若松市に引っ越ししてきて良かった事・困ったことをシェア。良かった事でみなさんの口から出てきたのは「お米と野菜が美味しい! 景色が綺麗!」ということ。困った事や心配な事は、やはり冬の雪道運転という声が多かったです。



他の参加者のために会津若松市のおすすめの飲食店のリストを作ってくれた参加者もいました。

会津若松市

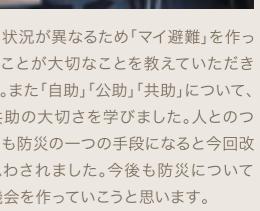
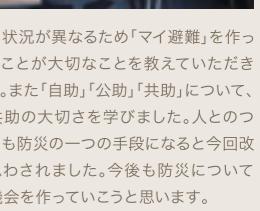
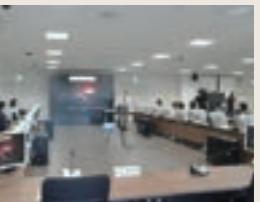
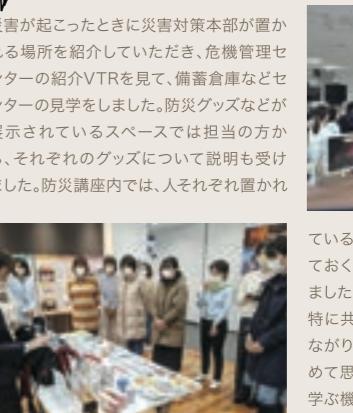
11月4日
tenten cafe@ふれあいハウス

11/4は場所を変えて、「ふれあいハウス」にて開催しました。当初10月15日のみの開催予定だったのですが、会津若松市さんの協力で、市政により募集を掲載してくれた効果もあり、定員を上回る応募があったので、急遽追加開催を決めました。この日も11名の転入女性が集まってくれました。猪苗代町から参加の方もいました。自己紹介後は、「会津若松でおすすめの1日の過ごし方」をテーマに、みんなどんな日常を過ごしているのかをシェアしました。おすすめのカフェやパン屋さんなどお店情報をたくさん出していました。会津若松市は土日に行ける支援センターや屋内遊び場がないようで、休みの日に子どもとどう過ごしているのかという質問もありました。さらに、その中で「会津若松はチェーン店が多い」という転入者ならではの視点の話も出たのが印象的でした。その後は、前回同様、お子様連れの方とそれ以外の方でグレーピングし、情報交換をしました。



Pick up!!

tenten社会科見学@福島県危機管理センター



会津美里町

11月5日
tenten cafe@ニイツル森カフェ

会津の第3弾は、会津美里町での開催。会津美里町は利便性もよく、さらに町をあげて移住に力を入れていることから近年移住者が増えている地域です。この日は会津若松市や磐梯町から参加の方も含め8名の転入女性が集まってくれました。会津美里という地域は転勤族があまりおらず、結婚や移住で定住する女性がほとんどで、全員がそうでした。移住・転入してよかつたことをシェアし、お互いが知っている情報を共有したり、悩みを相談したり、会話が弾み、あっという間の2時間でした。



参加者の声



tenten cafe@福島に参加

2年前に生まれ故郷の大分から移住してきました。それまでは東京の広告代理店に勤務したり、中小企業や個人事業主のプランディングをしたりしていました。息子の転勤と一緒に移住しましたが、見知らぬ土地で知り合いもなく、ゼロからのスタート。県からの仕事もコロナ禍で中断し、引きこもりがちになりました。そんなとき、偶然Facebookでtenten cafeを知りました。私は子どもも独り立ちした60代で、世代的に参加して良いもの?という迷いがありました。年齢関係なく同じような境遇を持つ方々とお喋りすることができ、孤立感や不安感が薄れたひと時でした。その後もtenten cafeで出会った方からランチのお誘いをいただいて一緒にお茶をしたり、2月13日の地震の後はお互いに安否を確かめ合ったりと、tenten cafeが繋げてくれたご縁で福島生活が楽しくなってきました。代表の藤本さんのお人柄は素敵で、勇気をいただきました。みなさんの活動に感謝の気持ちでいっぱいです。



tenten cafe@郡山に参加

2019年の春、東京から郡山へ引っ越しました。話し相手のいない孤独な生活が半年ほど続いていた頃にtentenと出会い、tentenの友達に勧められて、郡山市が主催する「転入女性のはやまーゼ教室」に参加することになりました。そこで新たに16人の転入女性と知り合い、そのメンバーで地域女性サークルを立ち上げることになりました。月1の定例会の他に、カフェランチ、ピクニック、果物狩り、お菓子作りなど、参加したい人が自由に参加しています。ベビマ部、もの作り部、お酒好きのための夜の部などもあります。半年間の孤独な生活が嘘のように充実した日々が始まりました。友達ができたおかげで、郡山は私にとって生涯住み続けたい街へと変わりました。残念なことに主人の仕事により郡山を離ることになりましたが、郡山でできた友達はこれからも長く縁が続くと思える人達ばかりです。tentenから始まった繋がりを、これからもずっとずっと大切にしていきます。

基礎の基礎から始める クラウドソーシングセミナー

日 時:令和3年2月26日(金)・27日(土)
参加者:19名
講 師:マルチクリエイター 筒井響子さん

昨年度大好評だった「基礎の基礎から始めるクラウドソーシングセミナー」を今年度はZOOMを使用したオンラインセミナーとして開催しました。平日開催の26日には7人、土曜開催の27日には12人の女性にご参加いただきました。参加者の半数以上が転入女性。中には福島在住ではない転勤族の方のご参加もありました。今回はオンラインでの開催ということもあり、県外の方や福島県内各地にお住いの方に参加していただくことができ嬉しく思いました。

講師は昨年度と同じ、筒井響子さん。

いわき市出身で転勤族の妻。スキルなし、コネなし、経験なしからクラウドソーシングを使ってWebライターを始め、現在は編集、さらにはカメラやイラストも受注するマルチクリエイターとして主に在宅で仕事をされています。

全員が簡単に自己紹介をした後、まずは「クラウドソーシングとは?」というところから。クラウドソーシングにはどんな仕事があるのかやサイトの種類、どんな人がどんな風に活用しているのか、仕事の受注の流れなど、筒井さんご自身の経験を踏まえて分かりやすく説明してくれました。

自分の特技や趣味、「好きなこと」で仕事をすると頑張れます!とモチベーションの保ち方のアドバイスも頂きました。できることや一見マイナスな経験さえもお仕事につながることもあるそうです。2日間ともセミナー内容は同じ。事前に作ったFacebookの非公開グループに挙がっていた参加者からの質問や、自己紹介の際の参加者の興味などに合わせて話してもらいました。



セミナー受講直後実施アンケート 回答者17名

Q1.セミナー内容はいかがでしたか?



- ほんやりとしか分からなかったクラウドソーシングについて、どんな仕組みなのか、どんなお仕事内容があるのか、知らなかった事を沢山知ることができました。
- 本当に無知の状態で参加致しましたが、とてもわかりやすく説明頂き、クラウドソーシングも自分次第ではじめられることがわかり、楽しみながらやってみたい!という意欲もわき、楽しみが膨らみました。
- クラウドワークという言葉を耳にしたことはありましたが、自分とは縁遠いものと思っていたしました。しかし、筒井さんのお話を伺い、誰にでもチャレンジ出来る分野であることが分かり、まさに目から鱗でした。新しい働き方を知ることができて、大変興味深いセミナーでした。
- 結婚して子どもが出来て、いろんなことに制限がかかってくる中で、もう自分がやりたいことを自由にやることはできないかなと少し寂しい考えが巡っていました。そんな中で今回のクラウドソーシングという働き方を知り、どこにいてもどんな人生を送っていても、自分がやりたい仕事をすることはできるんだと知り、自分のこれから的人生の選択肢が広がりました。

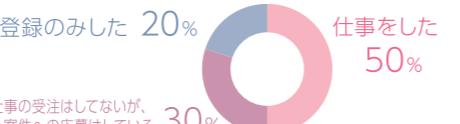
セミナー受講1ヶ月後実施アンケート 回答者13名

(内訳: 26日参加者5名、27日参加者8名)

Q1.クラウドソーシングサイトには登録されましたか?



(登録された方) Q2.クラウドソーシングサイトを通して実際にお仕事されましたか?



- セミナーに参加したことで、右も左も分からず状態から一步踏み出す勇気が持てました!今はライティングのマニュアルを教えてもらいつつ、20記事書いてみるというお仕事を受けてみました!しっかりしたマニュアルを教えてくれて、同じ依頼を受けた方々とチームを組んで行えるので勉強のつもりで今進めているところです!
- 何度もコンペに参加し、クラウドソーシングサイトでの仕事の仕方を勉強してる最中です。まだ採用はされていません。もし採用率を上げる方法など、次の機会があればまた聞いてみたいことが増えました。
- セルフブランディングを頑張りたいのですが、なかなか時間が取れないでいます。がんばります!

受託業務

さまざまな経験やスキルを持つコミュニティメンバーや、tentenライターへのお仕事の依頼を受注しました。その一例を紹介します。

ライティング

- 福島民報情報ナビTime コラム
「転入女性のtentenだより」執筆
- エフステ!ふくしま移住応援WEBマガジン
移住者インタビュー記事執筆
- monmo記事執筆



デザイン

- Life for Mothers 団体パンフレット作成
- 一般社団法人 Bridge for Fukushima インターンシッププロジェクト報告書作成
- 縁結び家系図やチラシ作成



福島市移住応援センターに任命

福島市が2019年度から新たに始めた取り組み「移住応援センター」。移住応援センターは移住希望者からの相談が市役所に入った時に、相談に乗ったり福島市民としてリアルな情報共有を行います。新たに4名が加わり、福島市内には12名のセンターが活躍しています。その移住応援センター第2期生にtenten代表の藤本が任命されました。これからは市役所とも二人三脚で移住定住支援を行っていきたいと思います。



福島市「特色ある児童教育・ 保育推進事業」選定委員に

福島市が取り組んでいる特色ある児童教育・保育プロジェクトに対して補助金支援を行う「福島市特色ある児童教育・保育推進事業」選定委員に代表の藤本をご指名いただきました。「子育てるなら福島市」を目指し、他県から移住したくなる幼稚園保育園を作ることを見据えて、他県から転入した女性目線、そして一親方目線で意見が欲しいとのご依頼でした。これまで南会津町、喜多方市、須賀川市に住んで子育てしてきた経験、そして地元である石川県の子育て環境なども踏まえて、それぞれの幼稚園保育園から提出された申請内容に率直な意見を伝えさせていただきました。

その過程で、tentenコミュニティメンバーにもどんな幼稚園や保育園があったら引越しをしてまで福島市に来なくなるかという意見をもらい、私だけでなく、tentenとしての意見を伝えることを心がけました。



オンライン福かふえ (福島県県北地方振興局主催) ゲスト参加

県北地方振興局よりお声かけいただき、オンライン移住イベント「福かふえ」にtentenスタッフがゲスト参加させていただきました。代表の藤本、スタッフの西村と眞部の3人が、「福島での暮らし」についてリアルトークをするという内容でした。



「新しい東北」交流会に パネラー参加

「新しい東北」官民連携推進協議会(事務局:復興庁)主催の「新しい東北」交流会が2月22日に開催され、東北で活動される色々な方面の方々と一緒にし、様々なテーマで分科会が行われました。tentenからは藤本が「復興のその先の地域づくりに、女性が生き生きと関わるには?~岩手・宮城・福島の実践例から学ぶ、地域と女性を結ぶ掛けづくり~」というテーマで岩手県の一般社団法人トナリノ若林恵さんと、宮城県のNPO法人ウイメンズアイの栗林美知子さんとパネルディスカッションをさせていただきました。



Special thanks

・一般財団法人 ふくしま未来研究会
・積水ハウス株式会社 福島支店

【まちとつながる旅】
・県庁通商店街振興組合
・OPTICAL YABUCHI
・Total Plants bloom
・食堂ヒトト
・OOMACHI GARALLEY
・PICK-UP & BarnS
・福島聖ステパノ教会
・Books&Cafe コトウ
・うろこや
・ペントノート
・anemos 長澤友美子さん
・TOKIMEKIPHOTO 古関真奈美さん
・一般社団法人 TENKIN LAB

【tenten cafe】

・信陵子育て支援センターばれぼれ
・積水ハウス株式会社 福島支店
・積水ハウス株式会社 郡山支店
・会津若松市役所
・一般社団法人 TORCH

【クラウドソーシングセミナー】

・マルチクリエイター 筒井響子さん



この事業は「2020年度ふくしま未来基金（公益財団法人パブリックリソース財団）」の助成を受けて実施しました。

令和2年度
転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクト
活動報告書

【発行日】 2021年4月

【制作・発行】 一般社団法人 tenten

<http://tenten-f.info>

info.tenten.fukushima@gmail.com

